

第 1 回「富士見丘小学校教育環境懇談会」概要

日 時	2013年8月27日（火） 10:00-12:00
会 場	富士見丘小学校 視聴覚室
出席者	委 員 9名 事務局 10名
配付資料	資料 1 杉並区立富士見丘小学校教育環境懇談会設置要綱 資料 2 委員名簿 資料 3 開催スケジュール 資料 4 富士見丘小学校概要 資料 5 富士見丘小学校をとりまく今後の環境変化について 資料 6-1 都市計画道路放射第 5 号線供用の経緯 資料 6-2 五者協議確認書 資料 6-3 五者協議確認書における実施すべき事項の取組状況について 資料 6-4 放射第 5 号線アセス条例対象区間及び事業改良区間の供用開始に伴う沿道の環境予測等
議事次第	1 開会あいさつ 2 委員等自己紹介 3 議長・副議長の選出 4 議題（資料説明・意見交換） ・富士見丘小学校をとりまく今後の環境変化について ・その他 5 閉会

第1回「富士見丘小学校教育環境懇談会」議事録（要旨）

（発言者敬称略）

1. あいさつ	
学校教育担当 部長	この懇談会は大事な事業として認識している。今後の富士見丘小学校を巡る環境変化が見えるようになってきた。一番大きな問題は、放射5号線の本格供用が近づいてきたことだ。また、東京都がNHKグラウンドや王子製紙グラウンドを買収して高井戸公園の整備を本格的に始めるという計画を進めている。さらに、富士見丘小学校自体も建築後かなりの年数が経ち、平成29年には築50年を迎える。築50年から65年くらいを学校の改築の目安と考えており、改築の検討時期に来ている。この懇談会は、このような様々な環境変化が予想されるので、富士見丘小学校の子どもたちの教育環境を守るにはどうしたらいいかということ、専門家や地域の皆さんに知恵を出していただければという趣旨で開いている。回数は少ないが、子どもたちを思う気持ちを大切にして議論していただければと思う。よろしく願いたい。
2. 委員等自己紹介（略）	
3. 議長・副議長の選出 ・議長に高見澤委員、副議長に村上委員が選出された。	
4. 議題：富士見丘小学校をとりまく今後の環境変化について（資料説明は略）	
（1）懇談会設置の背景と位置づけ	
議長	<p>この懇談会が開かれるに至った経緯は資料5に整理されている。第1に、放射5号線が平成29年度に本格供用されるため、地元説明等が今後本格化することだ。これについては、東京都から直接地元にいるいろいろな説明や協議の場が設けられるだろう。区も会議にはオブザーバーとして参加するようなので、懇談会に関係しそうな情報は提供してもらうこともあるだろう。</p> <p>第2は、都市計画公園高井戸公園が実現に向けてスタートする。具体的には東京都が用地買収に入る。予算の問題があるから時期はわからないにしても、この春に答申が出たということだから、最新の話であり、長年の懸案が具体化することが見えてきた。これも本校の教育環境整備については大きな影響を与えるだろうということだ。</p> <p>そして第3が、校舎の建築後50年が近づいてきたということだ。この3つが重なってきたので、この懇談会で議論しようということだろう。道路の問題、公園の問題、改築すべき校舎の問題という3つの範疇があることを頭に入れながら、率直に質問や意見を願いたい。</p>
委員	<p>そもそもの確認をしたい。この懇談会が開かれたのは、五者協議会の確認書が根拠なのか。五者協議会の確認書の中で、計画に変更があった時は話し合いの場を設けることが確認されている。この懇談会は、確認書がなくても開いたのか、確認書に書かれているから開いているのか。確認書は正式の文書として署名捺印されているわけで、その効力とこの懇談会との関係を確認したい。</p>
学校支援課長	<p>今回は資料5にあるような環境の変化があるので、教育委員会として皆さんと話</p>

	し合いをしたいという趣旨で、五者協議会の協議ではない。
学校整備課長	東京都からは、放射5号線の工事を始めるので五者協議会の確認書に基づいて地元説明に来たいという話が昨年からあった。暫定供用区間の中で東京都が一番気にしているのは富士見丘小学校だろうし、区としても放射5号線の事業が始まるのが懇談会のきっかけとしてあるのは確かだ。しかし、これは五者協議会に基づいて開く懇談会ではない。教育委員会として何らかの課題解決を検討しなければならないと考えて、この懇談会を開いたものだ。
議長	東京都も五者協議会の確認書のことは十分理解しているので、地元への働きかけがあった。五者協議会にとらわれると経緯的な問題も出てくるだろう。道路整備はあくまでも東京都の事業であり、情報も得る必要はあるが、当面は東京都が地元に対して説明会等々で働きかけるので、それはそれとして、都市計画公園のことも含め、富士見丘小学校の教育環境のあり方を考えるべきだとして、教育委員会が主体的に取り組む懇談会と理解してよいだろう。都市計画公園も次の段階になれば、建設局が地元へ働きかけて、どういう公園にするかなどを区民と協議する場が開かれるだろう。この懇談会は教育委員会が富士見丘小学校の児童の環境について議論を開始したという理解である。
副議長	5者協議会の関係で考えると、道路対学校という関係で、公害問題が中心の議論になる。今はそれを外して、富士見丘小学校の教育環境としてどうなのかということを考えようとしている。学校はどうあるべきかということも議論しておいて、その後、公害や中学校との関係などに広げていこうという機会がわざわざつくられた。これをうまく使っていった方がいいように思う。通常は、建設の直前になって学校の校舎改築検討協議会などが設けられるわけだが、その前に方針を議論する場ができたので、学校環境としてどうなのかということここではきちんと考えて、いろいろな場面を整理しておくというのは、今後にとって重要だと思う。
(2) 学区の立地的な特徴	
委員	資料4に学校の概要があり、在籍校状況のデータで区平均と大きく違っている部分がある。それは複雑に入り組んだ学区の形によるのだろうと思っているが、教育委員会としてどのように分析しているかを伺いたい。
新しい学校づくり係長	指摘されているのは、「その他」の数値が区平均の2.8%に対し12.3%と突出している部分だろう。大きな原因としては、世田谷区と隣接している上高井戸1丁目、特に甲州街道の南は、世田谷区の小学校で指定校変更の受け入れをしている。これは世田谷区が、区境付近ではそういうやり方をしている背景がある。通学距離の問題もあると思うが、上高井戸1丁目の子どもが全体の3割くらいは世田谷区の小学校に通っている。それでこのような数値になっているのだと理解している。
委員	環8の東だけでなく、旧甲州街道の南側も世田谷区に通っている。世田谷区に通ってはいけないということではできないのか。だんだん児童数が減ってきて、学年に2クラスしかないというのは寂しいと思っている。区内には学年に3クラス、4クラスある学校もある。
委員	公園の構想を見ると、富士見丘小学校は移転するのか。小学校が移転すると、ま

	すまず児童が減ってしまう。環8の東側などでは、上北沢小の方が近くなってしま う。
学校支援課長	移転という結論が出ているわけではない。この懇談会は、まずは放射5号線の影 響がどうなるかということ話し合ってもらう場である。
議長	富士見丘小学校は、かなり大きな学区で、幹線道路を越えなければいけないとい う状況にある。富士見丘中学校の校区は小学校と同じ範囲なのか。
新しい学校づ くり係長	中学校の学区の方が広い。富士見丘小に加えて久我山小や高井戸小、高井戸第二 小の区域の一部が含まれている。
(3) 通学路等の交通安全	
議長	通学路の指定や、1年生と6年生では体力も注意力も違うが、学年ごとの配慮、 あるいは実際の交通事故や防犯の問題など、富士見丘小学校の通学環境について、 われわれが頭に入れておいた方がいいような事柄がないか。
委員	学校として、安全性が確保できる広い道路に自宅から安全に出られるところを通 学路として選んでいる。登下校時には交通安全指導員に協力してもらい、危ないと思 われる交差点などに立ってもらったり、車が入ってこないようにA型バリケード (通称：ウマ)を置いたりしている。今年度は2件の交通事故があった。幸い大きな ケガにならなくてよかったのだが、1つは、通学路を歩いている時に、車道側に向 いていたランドセルに車が接触して転倒したもので、もう1つは、自転車に接触し たものだ。また、保護者の自転車の後ろに乗っていた子どもの足が車と接触してし まった例もあった。交通安全に関しては、通学路のいろいろな場所で注意が必要だ と思う。特に、富士見ヶ丘通りの中学校から放射5号にかけての狭くなっている ところが危ない。
委員	交通安全に関しては、富士見丘町会としても、区や警察にお願いしているのだが、 なかなかいい策がない。今月の20日に、区と警察とまちづくり協議会の3者で、富 士見丘通りを井の頭通りから放射5号線まで実地検査をした。高齢者が多い街なの に安心して富士見丘商店街に買い物にも行けない。久我山が高井戸の方に行ってい しまう状況なので、われわれは、夕方に買い物ができ、小中学生の登下校時に安心し て歩けるようなことを考えて、できれば朝夕の車両通行止めを希望したのだが、ま ずは、危険なところにコーンを立てるなど、できるところからやろうということに なった。路面の塗装や20km/h制限の道路であることの表示をすることの確認をした ところだ。そういう動きがやっとできた段階だ。道路が拡幅されて安心して通れる 道になるとありがたいが、高井戸公園との関係もあるだろう。
新しい学校づ くり係長	富士見丘通りも富士見丘小の通学路だが、歩きやすい道路ではない。NHKグラ ウンドの脇に富士見丘中学校へ抜ける幅員2.2mくらいの通りがあり、子どもたちが そちらに向かう時は、そこを比較的多く利用している。高井戸公園の整備区域にそ の道路は隣接している。
議長	あの道路は安全そうだが、日暮れが早い季節などは防犯面で不安がある。
(4) 放射5号線の環境影響予測	
議長	参考資料6-4のデータは、平成15年に出されたもので、当時は平成24年に供用

	開始とされていた。今年以降、説明される資料は、これが新しくなったものと考えてよいか。
都市整備部調整担当課長	資料の詳細は不明だが、情報は新しくなっているものと思われる。
委員	資料6-4の環境影響予測だが、通過台数だけでなくアイドリング状態で停車している時間の長さなどが数値に影響するのではないか。環8に右左折するところで渋滞すると、通過台数だけでなく、どれだけ停まっているかということが環境的には問題なのではないか。以前と比べればクリーンな排ガスになっていると思うが、走っている時よりも停まっている時の排ガスの方がよくないということを聞いたこともある。通過台数だけでなく、そういったところも調べたり予測したりした数字はあるのか。
公害対策係長	渋滞の調査はないが、一般的に出す数字として平均速度がある。時間内に通過する台数から出すのだが、当然、平均速度が小さくなれば、通過時間は長いし排ガスの量も多い。平均速度が上がって規制速度に近づけば、渋滞がない状態なので排ガスも少なくなり、大気汚染の結果もよくなる。そのようなデータはあるが、今日は用意していない。
都市整備部調整担当課長	東京都が、信号や横断歩道の設置について、警察と交通管理者協議を行っている。その取り方でも交通の流れは変わる。決定したらいずれデータが出されるものと思われる。
委員	自動車の性能がよくなったのでエンジンを吹かす人が少なくなった。規制されているので、ディーゼル車も減った。あまり敏感になる必要もないのではないかと思う。
副議長	環境アセスの数字は、24時間の平均なので、平均値の考え方は、なかなか難しい。ただ、環境評価としては、車の性能がよくなり、当初の予測よりはいい環境になると思うので、どうあるべきかという考え方が必要だと思う。
委員	供用開始した後の生活道路への通過交通をどこでどう規制するかというところの予測が立たない。大きな道路を通すと、必ず抜ける車が出てくる。学校だけでなく住んでいるエリアと考えると、地域外の車がどれくらい増えるかということが心配だ。
(5) 高井戸公園の整備	
議長	高井戸公園に関する具体的なスケジュールなどはまだわからないと思えばよいのか。
都市計画課調整担当課長	具体のスケジュールはまだのようだ。
議長	都市計画公園の区域には、京王井の頭線の車検区用地や西側にも普通の住宅地もある。そういう部分も買収しながら公園化していくのだろうか。
委員	われわれの住む区の南部地域にとっては、セシオンも不便なところにあるし、杉並公会堂も不便だ。NHKグラウンドのところにそういう施設を建てられないものか。避難の時、NHKのグラウンドが避難場所になるのならば、そこに公会堂的な

	<p>ものを建てれば雨風もしのげるし、避難するには一番いいのではないかと。催事をやってもそこに行けばよい。そういう施設がほしい。そういう話は区として考えていないのか。この地域は、中央線沿線や区の中央部に比して区の施設が少なく、大変不便であると言う人が多い。</p>
学校支援課長	<p>公園は東京都が資料にあるような形で整備していく考えなので、区の施設を建てるのはなかなか難しいと思う。</p>
副議長	<p>それは久我山だけでなく、区境の東の方も同様だ。杉並区の南北の交通の不便さは都市計画の大きな問題で、ここだけで解決できるようなことではない。区全体に東西方向の移動は便利であるが、南北方向の交通問題があり、それが新しい都市計画マスタープランでも課題になっている。</p>
議長	<p>高井戸公園は巨大だが、今後の買収の進行の中で、全てが公園として開園されるとは限らない。京王線の用地などは、場合によっては将来的に公園区域から外すかも知れない。公会堂がほしいという話があったが、公園になると建ぺい率が非常に制限される。東京都の公園は、基本的に建築物が許されない。そのエリアを公園から外さなければならないが、外したとたんに買収費用の出所がなくなってしまうし、公園は広い方がよいというのが大原則だ。</p>
<p>(6) 学校の改築・設備更新</p>	
議長	<p>50年経ったら改築の対象にするという考え方を教育委員会で持っているのか。</p>
学校整備課長	<p>はっきりとした計画はないが、日本建築学会や減価償却資産の考え方等を勘案して、各学校の状態によって50年経ったものから改築を視野に入れた検討を始めるという考えだ。</p>
委員	<p>子どもたちが学習する中で困っていることが1つある。高速道路がある関係で、相当早い時期から冷暖房が入っているのだが、全館冷房・暖房になっており、校舎の各階の東半分、西半分という形でしか操作できない。最近、冷房が入った学校では、教室ごとにスイッチを入れたり切ったりできるが、富士見丘小の場合、全館でないと入れたり切ったりできず、人がいない教室も冷房が入りっぱなしということにならざるを得ない。機械そのものの制御も難しく、調子が悪くなると効かなかったり効き過ぎたりしてしまう。6月の学校公開の時には3階の冷房が効かず、あまりに暑かったため、高速道路側の窓を開けざるを得ない状況だった。学習の環境としてはちょっと厳しいところがある。昭和の時代の冷暖房システムにより、制御がとても難しい。区に相談したのだが、機械が建物と一体的であるため対応が難しいらしい。そういう状況がある。</p>
副議長	<p>公共施設は、戦後の同じ時期にたくさんつくっているので、同じタイミングで老朽化していく。区でも公共施設のあり方に関する長期計画の見直しをやっているようなので、この議論は、それに乗れるか乗れないかという議論でもある。先のことに思えるかも知れないが、行政にとっては非常に重要なタイミングの検討になるように思う。杉並第十小学校が蚕糸試験場に移る頃、杉十小学校は、公害もひどく、暗く、本当に切迫した状況だった。それを思えば、富士見丘小学校は明るくきれいなので、切迫感がないのかも知れないが、これがずっとこのままでいるという状況</p>

	とは限らない。10年後を考えた時にどうなるかということ、ここで一緒に考えていけるとよいと思う。
(7) 周辺状況に対する保護者の関心喚起	
委員	すでに何回か放射5号線の説明会が開催されており、全保護者に学校から通知を出しているのだが、参加率がよくない。その時、その時にうまく備えられればという感じだ。
副議長	久我山間で都が放5事業推進のための検討協議会を実施した時なども、富士見小の保護者の参加は少なく、もともと5者協議会をやっていた人たちが参加していた感じだ。
委員	5者協議会があったことを知っている人も少ないし、こういう資料を見ても、どういう工事なのかということもイメージできない。道路が広がる工事が始まるんだなという感覚を持つだけで、それが子どもの環境にどう影響してくるかということまで想像できないのではないかと。どこかに興味はあるのだと思う。工事車両が入ってくるとかいうところまでわからず、実際に工事が始まってみると大変だと思わないか。
副議長	P T A 代表の立場から考えると、富士見丘小学校の将来をどう考えるかということがこの場だけで終わってしまうと、多くの保護者はこういう議論があったことすら知らないという状況を招いてしまう。できれば多くの人の意見を集約した形でP T A 会長に出席してもらおうとよい。こういう議論をやっていること広めてもらい、懇談会で考えたことも情報として戻してもらおうことが、重要だと思う。
議長	P T A でも、機会があれば、こういう会が発足したことと、当面、短期間にある問題整理を行うこと、資料5にある3つの事柄が並んできっかけになったというくらいのことは紹介してもらえるとよい。5年、10年先の話だと、自分に関係ないという気になるが、せっかく区が議論の場を持ちかけてくれたのだから、ここできちんと問題を整理して声を上げていけば、いいのではないかと思う。時間がかかるという面と、いい話だから乗っておくという面の両方を頭に入れておくとうい。
(8) 富士見丘中学校との意見交換など	
委員	高井戸公園の話は時間がかかりそうだが、放五については29年度供用開始で早急に対応しなければならない話である。放射5号線は富士見丘中学校にも関わる問題だが、中学校の方ではこのような懇談会を考えているのか。
学校支援課長	この懇談会は小学校の教育環境を考えるもので、中学校とはまだ全然話をしていない。
委員	3月に日経新聞に出た記事のこともある。改築の時期であるとか、学校移転ということも文言として出ているので、その辺が根拠で新聞記事が出たと聞いている。中学校との連携や情報交換はどう考えているのか。中学校とは関係なく小学校の教育環境だけで進めるのか。その辺りの方針を聞きたい。
学校支援課長	平成21年3月にまとめた「都市計画高井戸公園周辺まちづくりランドデザイン」というものがある。学識経験者の先生に検討いただいたものだが、その中で、富士見丘中学校の辺りに小中一貫校を建てる案が載っている。それが3月の日経新聞記

	<p>事の根拠になっているのではないかと思う。学校移転等は今後の議論で出てくるかもしれないが、今は、放射5号線の本格供用が小学校の子どもたちにとって、どうかということ議論してもらうのがよいのではないか。</p>
議長	<p>今後の対応の考え方にもよるだろうが、ある段階からは中学校との関係性も深くなっていくだろう。この懇談会が来年の春で一応の報告をまとめることになっているのは、事態の推移に合わせて、次の段階の協議の形態に移っていくという理解でよい。ここで全ての結論が出るわけではない。公園や道路の進捗も来年以降新しい状況が出てくる。それにこちら側も対応していく。極端に言えば第2次の懇談会ができたり、協議会ができたりすることも考えられる。そういうふうに理解したい。この懇談会は、ある情報の元に、ある方向の整理をして、いったん閉じる。その整理の中には、今後、検討を深めなければいけない課題なども書かれるだろう。富士見丘中学校と一緒に議論する、あるいは小中それぞれに議論して擦り合わせるといったことを懇談会報告書に書くということも十分あり得る。</p>
<p>(9)まとめと次回に向けて</p>	
副議長	<p>教育環境懇談会となっているが、学校環境を考える時には成育環境と捉えるべきだと思っている。単なる学習ではなく、子どもの育ちをどう支える空間にするかということがとても重要だと思う。そういう視点で、子どもたちの育ちの空間をどうつくっていくかと考えてもらうとよい。子どもは学校以外にあまり場がなくなっている。学校の環境は子どもの成育に関係してくる。重要な議論だ。教育施設なので学習環境であるが、体力や心の成育に資することも考えるような、広い意味の環境づくりと考えて、富士見丘小学校がどうあるべきかと議論できるとよいと思う。</p>
議長	<p>懇談会開催の3つのきっかけについては、ある程度、意見交換して、頭に入った部分はある。次は、どういう環境への影響がありそうで、どういう対応の仕方があるのかという議論を2回、3回と深めていき、3回目くらいにこういう議論をしてきたという数ページの間接報告を出すというスケジュールも理解できたと思う。放射5号線については、東京都から資料も出されていくだろうから、それは時々懇談会にも持ち込んでもらう。高井戸公園に関係するランドデザインは、出してもいいものであれば、次回に用意してもらうことにして、それで中学校の問題も含め、少し追加資料が出る。学校建て替えについての追加資料は、何かありそうか。</p>
学校整備課長	<p>懇談会をやっている間に何か提供できるものがあれば提供したい。</p>
議長	<p>ここ10年くらいにどういう学校がどういう理由で改築をしたかという簡単な資料くらいは用意できるだろうか。</p>
学校整備課長	<p>次回に用意する。</p>
議長	<p>次回以降もそれぞれの立場から気づいたこと、子どもが学んで育つという環境、広い意味で、学校の中も大事だし、地域の安全なども大事なので、そういう話題も出して、せっかくの機会なので、将来のよりよい富士見丘小学校はどうあればよいのかという観点から議論が進めば建設的だと思う。</p>